

## みなとみらい2050プロジェクト アクションプランの推進体制について

### (報告要旨)

本年3月に策定した「みなとみらい2050プロジェクト アクションプラン」の実現に向けた、みなとみらい21地区の企業等関係者の皆様との公民連携による推進体制について、ご報告いたします。

## 1 これまでの経緯

- |              |  |
|--------------|--|
| 平成 27 年 3 月  | ・みなとみらい2050プロジェクト アクションプラン策定                                       |
| 平成 27 年 5 月  | ・みなとみらい21地区の住民代表等で構成される情報交換会で説明<br>・第2回市会定例会 温暖化対策・環境創造・資源循環委員会へ報告 |
| 平成 27 年 6 月  | ・みなとみらい21環境対策部会(※)で説明  |
| 平成 27 年 7 月  | ・みなとみらい2050プロジェクト部長会<br>・みなとみらい21環境対策部会等で説明                        |
| 平成 27 年 9 月  | ・みなとみらい21環境対策部会等で説明  |
| 平成 27 年 10 月 | ・みなとみらい2050プロジェクト庁内連絡会(区局長)  |
| 平成 27 年 11 月 | ・みなとみらい21環境対策部会会員企業によるプロジェクトチーム(テーマ別コンソーシアム)の活動開始                  |

※一般社団法人横浜みなとみらい21の正会員67社のうち29社で構成され、環境対策について検討する組織。

## 2 今後の予定

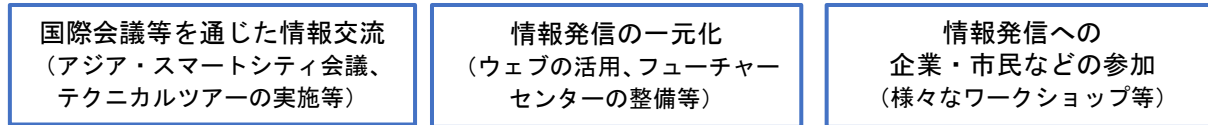
- ・引き続きプロジェクトチーム(テーマ別コンソーシアム)での取組を推進
- ・みなとみらい21地区の在住、在勤の方が中心となったワークショップ等を開催し、幅広く意見聴取
- ・プロジェクトチーム(テーマ別コンソーシアム)の情報共有、分野横断的な取組実施に向けた調整などを目的に、企業、市民、大学、行政等で構成する推進連絡会議(フォーラム)を開催

プロジェクトチーム（テーマ別コンソーシアム）について

	テーマ	参加企業等（五十音順）	関係区局	取組の方向性
Project1 グリーン アクティビティ	<b>公園以外の民有地や公共空間等を活用し、歩いて楽しめるスマートな緑花空間を実現</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>民有地や公共空間をつないだ、話題性・発信性の高い緑花空間を創出する取組の検討・実施</li> <li>全国都市緑化よこはまフェア（平成 29 年 3～6 月）に向けて、歩道や民有地など、地区内の歩行者空間について、歩いて楽しめる緑と花があふれる空間の実現</li> </ul>	三井住友信託銀行(株) 三菱地所(株) (株)横浜国際平和会議場 横浜新都市センター(株) (公財)帆船日本丸記念財団	西区 環境創造局 都市整備局 道路局 港湾局 温暖化対策統括本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共空間や民有地を活用し、地区内企業等と連携した持続的な緑化の推進体制を検討</li> <li>横浜美術館のけやき通り沿い敷地内の緑化整備など、公民連携による公開空地等を活用した「まちかどの緑」の推進</li> </ul>   <p>市民協働による緑化      花と緑による賑わいの創出</p>
Project2 アクティビティ	<b>先進的な技術・演出を取り入れたイベントの活用による街の賑わい創出や情報発信の実施</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境技術など先進的な演出等を取り入れた、みなとみらい 21 地区にふさわしい大規模イベントの実施</li> <li>地区のポテンシャル向上に繋がる街の賑わい創出や情報発信力を強化</li> </ul>	オリックス不動産投資法人 富士ゼロックス(株) 三菱地所(株) (株)横浜インポートマート (公財)帆船日本丸記念財団 (公財)横浜市芸術文化振興財団	西区 文化観光局 都市整備局 温暖化対策統括本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境未来都市・横浜を国内外に発信できる話題性・発信性が高いだけでなく、歴史・文化に根ざした、市民が誇りを持てる新たなイベントの開催を検討</li> <li>環境技術とアートがコラボレーションしたイベント「スマートイルミネーション横浜 2015」をはじめ、街の賑わいと相乗効果が期待できる地区内で開催される既存イベントとのコラボレーションを検討・実施</li> </ul>   <p>スマートイルミネーション横浜 2015      光のパレード「GINGA」</p>
Project3 アクティビティ	<b>ICTを活用した双方向コミュニケーションシステムの構築と運用の実現</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区在勤者や来街者等を対象に、デジタルサイネージや SNS 等の ICT を活用したコミュニケーションシステムの導入を検討・実施</li> </ul>	富士ゼロックス(株) 三菱地所(株) みなとみらい二十一熱供給(株) (株)横浜銀行 横浜高速鉄道(株) (株)横浜国際平和会議場 (公財)帆船日本丸記念財団	西区 都市整備局 温暖化対策統括本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>Wi-Fi 実証実験もふまえた、双方向コミュニケーションシステムの構築と運用を検討</li> <li>地区在勤者を対象にしたプロジェクトの取組の発信や、アイデア募集等を行えるシステム等の開発と運用を検討</li> <li>国内外の来街者を対象にした地区内全域の回遊性を向上させる情報収集・発信を行えるシステム等の開発と運用を検討</li> </ul>
Project4 エコ・モビリティ アクティビティ	<b>観光需要も視野に入れた、エコ・モビリティの導入</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「チョイモビ ヨコハマ」や「ベイバイク」の拡大実施や、新たなエコ・モビリティの導入検討</li> <li>公共交通と次世代交通等の交通結節点機能及び情報発信、利用登録機能を有する次世代交通ステーションの整備等を検討</li> </ul>	日産自動車(株) 富士ゼロックス(株) 三井住友信託銀行(株) 三菱地所(株) 横浜高速鉄道(株)	西区 文化観光局 環境創造局 都市整備局 港湾局 温暖化対策統括本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>「チョイモビ ヨコハマ」や「ベイバイク」の継続や新たな展開</li> <li>最先端のパーソナルモビリティの導入検討（試乗イベント実施等）</li> <li>水陸両用バスの社会実験等を通じて、まちの賑わい形成や観光需要を生み出す取組を実施</li> </ul>     <p>チョイモビ ヨコハマ      ベイバイク      セグウェイ      水陸両用バス</p>
Project5 エネルギー	<b>供給側と需要側が一体となったエネルギーマネジメントの実現</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域冷暖房施設の B L C P 対策強化</li> <li>需要側及び供給側での熱と電力の総合的なエネルギーマネジメントの実現に向けた検討</li> </ul>  <p>自立分散型エネルギーインフラのイメージ</p>	(株)NTTファシリティーズ 神奈川県民共済生活協同組合 みなとみらい二十一熱供給(株) 三菱地所(株) (株)横浜国際平和会議場 (公財)横浜市資源循環公社	西区 環境創造局 都市整備局 温暖化対策統括本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済産業省の補助金等を活用し、地区内にコジェネレーションシステムを導入するなど、エネルギーの面的利用、及び防災性能の向上につなげる取組を推進</li> <li>地区内の熱と電力の総合的なエネルギーマネジメントの検討・実施</li> </ul>

## 4 国内外への情報発信

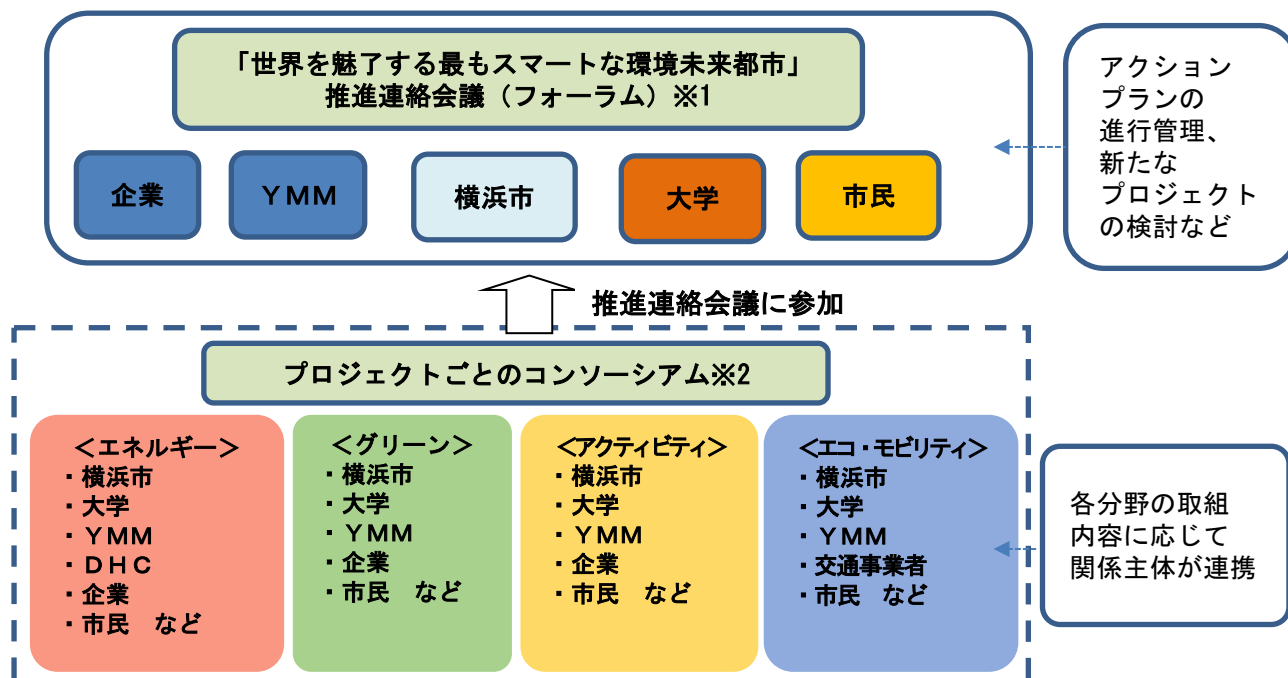
市内企業の技術等の海外セールス展開を支援するため、最先端の環境技術、スマートなまちづくりを発信する場やビジネスマッチングの機会を創出するなど、海外をターゲットとしたブランディング強化を推進します。これらにより、来街者の増加や企業誘致の促進などにつなげていきます。



## 5 推進体制

スマートなまちづくりの実現化に向けた取組の検討、実施については、企業、市民、大学など、横浜市を含めた多様な主体がそれぞれの立場で役割を果たし、協力・連携して取り組むことが重要です。このため、企業・地域住民などこれまでまちづくりに関わってきた主体を中心に、継続的に検討する体制を構築します。

推進体制では、新しい取組を検討し、アクションプランに位置づけることや、各プロジェクトのPDCAサイクルの実施やコーディネートを行い、アクションプランの実現を図ります。



※1 推進連絡会議（フォーラム）：横浜市やYMM、大学が中心となり、企業、研究機関、市民、NPO等の参画を得て取組を推進する協議体

※2 プロジェクトごとのコンソーシアム：環境未来都市の実現に資する新しい技術、システム、サービス等の創出や実証実験としての先導的導入等を行う

## 6 今後の展開

### ◎スマートなまちづくりの推進に向けて

アクションプランの実現に向けて、市民・企業等との体制、事業化へのプログラムの検討を行うとともに、投資しやすい環境づくり、資金・ファイナンスなどを調達する仕組みも含めて、スマートなまちづくりの推進に向け、公民連携のもとでチャレンジしていきます。



【環境未来都市】環境問題や超高齢化への対応などの様々な社会的課題に総合的に取り組んで活力ある都市をつくる、国家的なプロジェクトのひとつです。横浜市は、平成 23 年 12 月、国から「環境未来都市」に選定されました。

## みなとみらい2050プロジェクト アクションプラン（概要版）

### 1 アクションプランとは

みなとみらい21地区の事業開始から30年が経過し、この間の社会情勢の変化を踏まえ、地球温暖化対策とBLC Pへの対応など、新しい時代の要請を取り入れたまちづくりを進めていく転機にあります。特に、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を契機に、今後、海外からの来訪者の増加、都市の成長が期待されています。

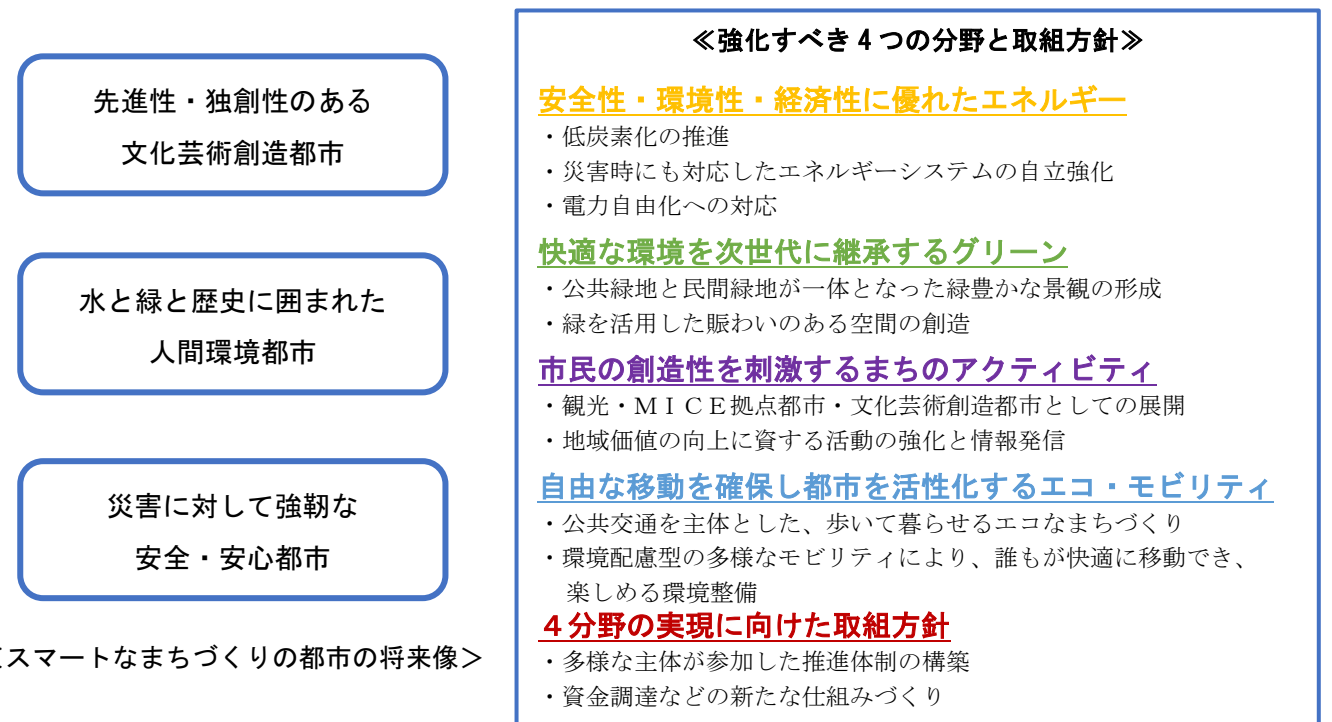
本プランは、平成26年4月にまとめられた「横浜市みなとみらい21地区スマートなまちづくりの方針」の答申を踏まえ、企業、市民、大学など、あらゆる関係者と共に、スマートなまちづくりを推進することにより、まちの魅力やまちの価値を一層高め、選ばれる都市である「世界を魅了する最もスマートな環境未来都市」の実現を目指し、平成27年3月に策定したものです。

対象期間は、2020年までの短期、及び中期（～2030年）の取組を中心としています。

※BLC P（Business Living Continuity Planning）：災害や事故に対して、最低限の事業活動や生活の継続を図るための危機管理に関する行動計画のこと

### 2 スマートなまちづくりに向けた都市の将来像と分野別取組方針

スマートなまちづくりの都市の将来像を実現するため、これまでのまちづくりで育まれてきた港、街並み、景観、歴史的資産などの横浜ならではの様々な資源を活かしながら、強化すべき4つの分野において、それぞれが連携してスマートなまちづくりの取組を推進します。



世界を魅了する最もスマートな環境未来都市

### 3 分野別の取組

#### エネルギーの取組

##### <目指す姿>

- ◆先進的な地域冷暖房施設等を活かし、災害への対応にも配慮した自立分散型エネルギーインフラにより更なる強靱化が図られている
- ◆横浜スマートシティプロジェクト（YSCP）の成果を活かし、電力の他、熱の融通も含めた最適なエネルギーマネジメントが実現されている

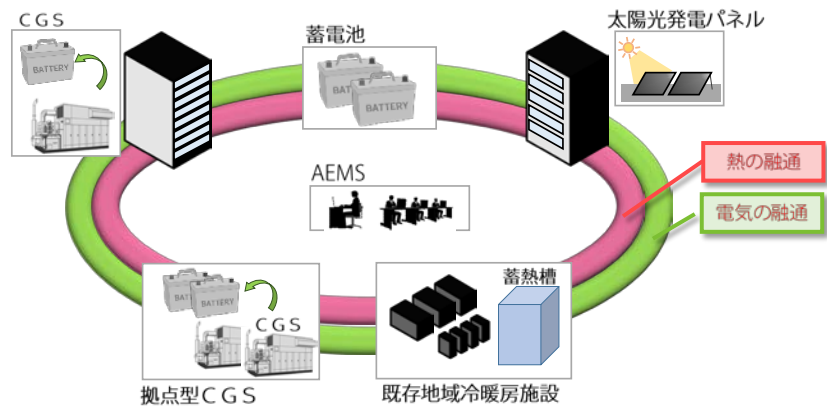
##### <主な取組>

○既存の都市基盤施設を活用した自立分散型エネルギーインフラ形成  
・環境・防災性能を高める自立分散型のエネルギー供給システムを導入（CGS等設置促進）

○供給側と需要側が一体となったエネルギーマネジメント

- ・DHCやYMMと連携した新たなコンソーシアムを設立
- ・YSCP（みなとみらい21地区8拠点BEMS導入）  
⇒地区全体への水平展開

※CGS：コジェネレーションシステムなど  
DHC：みなとみらい21熱供給株式会社  
YMM：一般社団法人横浜みなとみらい21



<自立分散型エネルギーインフラのイメージ>



<供給側と需要側が一体となったエネルギーマネジメント（AEMS）イメージ>  
（柏の葉 スマートセンター 商標登録第 5472280 号）

#### グリーンの取組

##### <目指す姿>

- ◆公共緑地と民間緑地の連携による緑陰空間・壁面緑化など、これまでにない魅力のある快適な空間が広がり、緑のつながりが形成されている
- ◆市民ボランティアや企業スポンサー等が協働して作る季節感ある「緑花」空間やまちの賑わいにもつながる緑が実現している

##### <主な取組>

○公園緑地等を中心とした新しい緑のオープンスペースの整備

- ・グランモール公園での環境未来都市にふさわしい公園へのリニューアル、魅力・賑わいの創出に向けた協働による新たな公園利用

○公開空地等を活用した「まちかどの緑」プロジェクトの実施

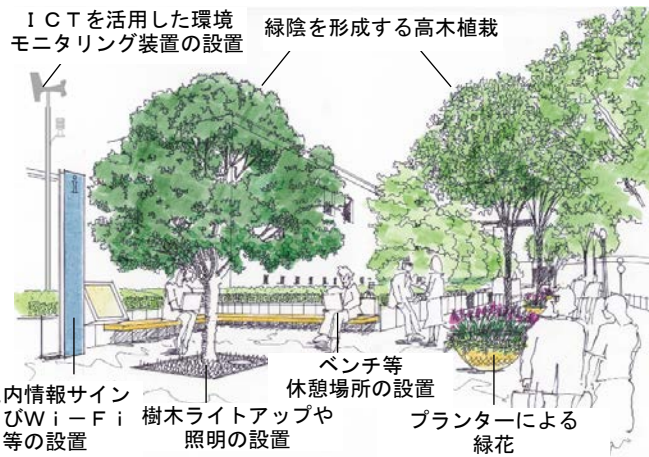
- ・公民連携による花と緑の賑わい創出、壁面緑化、環境技術の導入など、緑と都市生活の調和



<新たな公園利用のイメージ>



<壁面緑化>



地区内情報サイン  
およびWi-Fi  
等の設置

ICTを活用した環境  
モニタリング装置の設置

緑陰を形成する高木植栽

ベンチ等  
休憩場所の設置

プランターによる  
緑花

<まちかどの緑のイメージ>

#### 環境ショーケースとして 分野横断的な取組を推進、国内外へ発信・展開

- ・環境技術のフィールドチャレンジ
- ・環境技術とアートのコラボレーション
- ・歩いて楽しめるスマートな緑花空間

#### アクティビティの取組

##### <目指す姿>

- ◆観光・MICE拠点都市、文化芸術創造都市として更なる展開を図り、グローバルな規模で高く評価される競争力のある都市として注目されている
- ◆エリアマネジメント活動やコミュニティ活動など、地域が主体となった取組をICTを活用した先進的技術により国内外に発信している

##### <主な取組>

○国際的なMICE拠点の地位の確立

- ・新たなMICE拠点の整備・拡充（20街区など）

○横浜らしい芸術フェスティバルの実施

- ・スマートイルミネーション横浜など、特色のある芸術フェスティバルの開催

○訪日外国人の滞在環境の向上

- ・無料Wi-Fi環境整備、多言語案内表示、多言語対応などのボランティアガイド育成など

○エネルギー・環境など成長・発展分野の育成

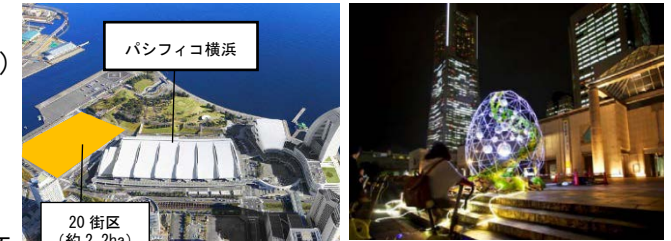
- ・先進的エネルギー、次世代交通などスマートな技術等の情報発信

○国際海洋都市に向けた環境整備

- ・環境保全・海洋教育を先導的に推進

○港、街並み、景観、

歴史的資産等をいかした魅力づくり



<パシフィコ横浜と20街区> <スマートイルミネーション横浜>



<オープンカフェ> <きれいな海づくり>

#### エコ・モビリティの取組

##### <目指す姿>

- ◆充実した公共交通の利用を図り、歩いて暮らせるエコなまち、高齢者にも配慮した人に優しい、健康志向のまちが実現している
- ◆多様な次世代交通により、快適に移動できるまち、賑わいの創出、活発な都市活動が実現している

##### <主な取組>

○公共交通を主体とした、歩いて楽しめるエコなまちづくり

- ・沿道の賑わい創出、緑陰の形成、ベンチ設置など、まちを散歩できる環境整備

○低炭素型次世代交通の実用化

- ・次世代交通の相互連携による情報提供、交通結節点機能の強化

○回遊性を高める最先端のモビリティ、新たな交通システムの導入

- ・観光も意識した交通の導入（LRT、連節バスなど）
- ・車両自動運転システム、燃料電池車、次世代コミュニティサイクルなどの導入
- ・水陸両用バス・水上交通等の導入



<ワンウェイ型モビリティ>



<パーソナルモビリティ>



<移動式水素ステーション>



<LRT（次世代型路面電車システム）>